




SAPジャパン株式会社

本社 東京都千代田区大手町一丁目7番2号 東京サンケイビル 〒100-0004
TEL 03-3273-3333 FAX 03-3273-3339 www.sap.com/japan



**世界120カ国、
1,200万人の
お客様自身が、
SAPソリューションの
真の開発者なんです。**

私たちの仕事は、

“ITを通じて業務改革や新たな価値創出を実現し、
お客様に成功をもたらすこと”。

SAPは、創業以来33年間、一貫した哲学を持ち、国や地域で異なる
ビジネスニーズを吸い上げ、さまざまな企業の経営課題に取り組んでまいりました。
現在、世界120カ国、34,600社、1,200万人以上のお客様に支持され、
エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア市場において
世界No1のシェアを揺るぎないものとしています。

顧客基盤が広く厚いことは、個々のお客様にとっても大きなメリットとなります。
あるお客様のニーズから生まれた機能を追加することが、
他のお客様のニーズを解決することにつながり、
つねに革新しつづけるソリューションを提供することができるからです。
言い換えれば、ひとつひとつの企業、ひとりひとりのお客様が
SAPソリューション開発の中心に立っているということです。
SAPソリューションをすでに採用されているお客様が、
また新しいベストプラクティスを創っていく。
このようにして、また進化したSAPソリューションが生まれるのです。

ひとりひとりの
顔と向き合う顧客志向



**統合することで、
いくつもの
答えが見えてきました。**


企業におけるITの活用範囲はますます広がりを見せています。お客様が直面する経営課題を解決するためには、もはや、個別のシステムをバラバラに利用することでは対応できません。個々の企業ニーズにあったソリューションを柔軟に組み合わせることができる、統合された基盤が必要となります。

SAPは設立以来、企業が情報を一元化してリアルタイムで正確な判断を行うための統合ビジネスアプリケーションを開発し、これまで弛まざる革新をつづけてきました。すでに、SAP R/3は「ERP」という概念を表す代名詞として、世界中で広く知られています。そして今、SAPのソリューションはERPを核としてSCMやCRMなどのさまざまなソリューションを統合したmySAP Business Suiteによって、世界に広がるお客様のあらゆるビジネスニーズに応えていきます。もちろん、ビジネスニーズは業界ごとに大きく異なり、それぞれの業界にあったソリューションが必要であることは言うまでもありません。SAPは自動車、ハイテク、化学といった製造業から流通や金融、あるいは公益、公共の分野まで、それぞれ27の業種に合わせたソリューションにより対応しています。

SAPのビジネススイートは、世界的な展開を持つグローバル企業から、スピーディな導入・進化を要求されるスモールビジネスまで、企業規模を問わず、コストの削減やスピーディな意思決定を実現します。

すべての業種・企業 規模に応えるソリューション





**あらゆる環境に
つながるテクノロジーが、
ビジネスの制約を
またひとつ
打ち破りました。**

今日、IT技術の進化するスピードの速さは、
企業の進化をも追い越し、
意思決定をますます難しいものとしています。
「既存の情報システムを有効活用して、
ITへの投資効率を最大化したい」、
「新しいテクノロジーへすばやく対応したい」、
私たちは、このようなお客様の要望にも、
つねに耳を傾けてきました。
企業の経済活動のすべてを支えるシステムに
求められるのは、時代の最先端をとらえ、標準規格に対応し、
日々革新的に進歩するさまざまなテクノロジー環境を、
自らの環境に取り込める能力です。
SAPは、ビジネスの成功に不可欠な「人」、「情報」、「プロセス」の
3つをテクノロジーの視点でも統合します。
エンタープライズポータルからナレッジマネジメント、
Webアプリケーションサーバーなどのシステム統合基盤まで、
オープンで、かつ柔軟性・拡張性に富んだシステム環境を実現します。
SAPのビジネススイートを強力に支える技術基盤となり、
システムの高度な活用や柔軟度の高いシステム構築を促進する—
SAP NetWeaverは、お客様のビジネス基盤をより強固にし、
異種環境の垣根を打ち破った
ビジネスの拡張を可能にするテクノロジースイートなのです。




未来への拡張・進化を約束する
プラットフォーム



今日お逢いするお客様も、
おそらく一生の
お付き合いになるでしょう。

SAPにはお客様のビジネスの根幹を支えている責任、そして
お客様のビジネスの成長にあわせたソリューションを提供しつづける責任があります。
それを果たすため「製品開発」「導入」「教育」「運用」というお客様との接点の中で、
永続的な関係を築き、SAPソリューションの価値を最大化し、
個々のお客様に最適化する姿勢を大事にしています。
製品開発—ビジネスアプリケーションの継続的な改善をはかることはもちろん、
新しいテクノロジーとビジネスアプリケーションの開発・融合を
全社員の1/3にあたる約12,000人の開発者が、
日本を含む全世界9カ国の開発拠点で行っています。
導入—SAPコンサルタントをはじめ世界18万人の認定コンサルタントが
導入から稼働までを支援するサービス体制を整えています。
幅広い経験とノウハウに基づいた多岐にわたるサービスを、お客様に提供します。
教育—200以上におよぶ業務プロセス別の
トレーニングコースを国内外で受講できるほか、
自己学習ツールやトレーニング教材も充実しており、お客様自身が最適かつ最善の方法で、
短期間にSAP製品の知識を取得できます。
運用—導入後の運用も、SAPのグローバルサポートが支援。
不意の障害対応からトラブル回避の予防・保守まで、
24時間365日、日本語でも対応できる体制を完備しています。

すべての質を高めていく永続的な関係



**お客様が、
お客様を、
支援すること
あるのです。**

SAPでは、お客様とパートナー、SAPの三者が
お互いに影響を与えながら、永続的な関係を築きあげています。
お客様同士を結びつける強力なネットワークとして、
ユーザーグループが幅広く活躍をされています。国内外の
お客様企業間で情報を交換するだけにとどまらず、
SAPの開発者との情報交換をはかり、また業界を代表する
ベストプラクティスをとりまとめるなど、
ユーザーグループの存在は、SAPの新しい製品開発を支えている
といっても過言ではありません。

また、世界同一基準で認定されたグローバルな
SAPパートナーバリューネットは、認定パートナー各社がもつ広い知識と
経験で、テクノロジー、導入、サービス、運用から拡張まで、
SAPソリューションをさらに効率化させ、
強化する存在となっています。

国内はもとより海外で導入を推進する場合にも、充実した
サポートをお届けできるわけです。

お客様同士、パートナー同士、
そしてSAPグループ内での連携、さらにこの三者間が
有機的に密接に結びつくことで、
お客様の個々のニーズにきめ細やかに対応できるのです。



グローバルかつ
立体的に展開されるエコシステム

期待に応える
SAPから、
期待を超える
SAPへ。



SAPは創業35周年、SAPジャパンも設立15年を超え、IT業界で最も重要な企業のひとつに位置づけられるようになりました。これは“ビジネスに対するお客様の要求に集中して耳を傾け、新たな付加価値を提供し、お客様を成功に導くこと”に邁進してきた結果であると考えています。当初よりSAPはお客様側に立ってビジネスを眺め、ニーズを認識し、時代を先取りしていく、という姿勢を基本としてきました。そして今日、SAPのソリューションを世界中の企業に採用いただいている、という事実と実績は、私たちの姿勢のあり方をますます後押ししてくれています。

企業を取り巻く環境はさらに複雑化し、ITソリューションに対する要求もいっそう厳しいものとなりつつあります。変化する経営環境にいかにか機動的に対応し、投資効果をあげていくのか。企業にとって重要な経済活動全体を支援するシステムに携わっている私たちには、つねにその問いに答えられるだけのビジョンを提示することが求められています。SAPはこれまでも実世界と情報世界の統合を実現してきました。これまで培ってきたビジネス経験と最新のテクノロジーを基に、経営環境の変化を確実に企業の強みに変える、最良のソリューションを提供しつづけられると確信しています。

私たちSAPは、初心を忘れず、そしてつねに時代の先を見据えながら現実の経営課題を解決し、お客様が思う以上の結果を残していきたいと考えております。

「お客様の期待に応える」から「お客様の期待を超える」へ。

SAPの成功は、いつもお客様の成功とともにあります。

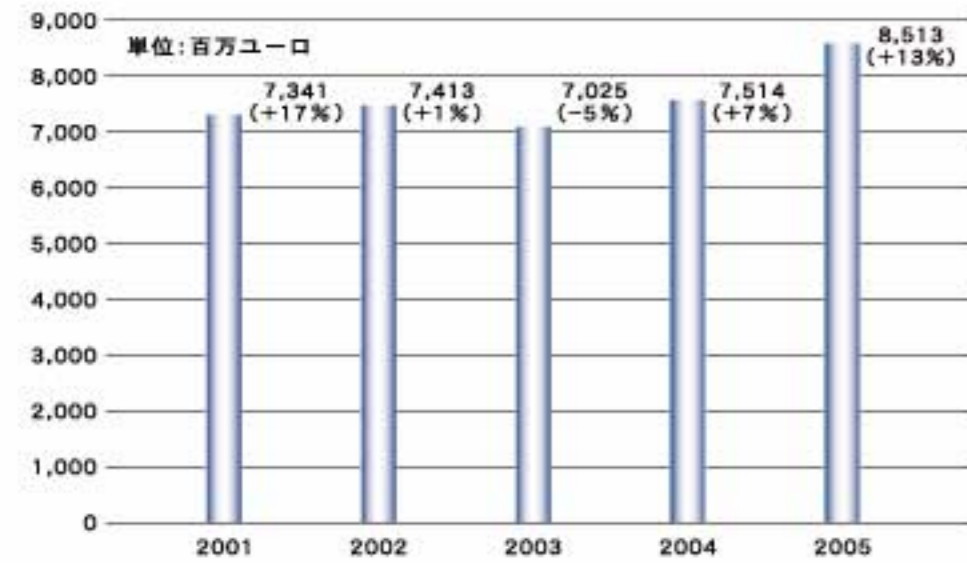
●SAP会社概要

本社:SAP Aktiengesellschaft(SAP AG)
 Dietmar-Hopp-Allee 16 69190 Walldorf Germany
 設立:1972年
 代表者:会長兼CEO Henning Kagermann(ヘニング・カガーマン)
 社員数:38,468名(2006年9月末現在)
 決算日:12月31日
 ホームページ:www.sap.com

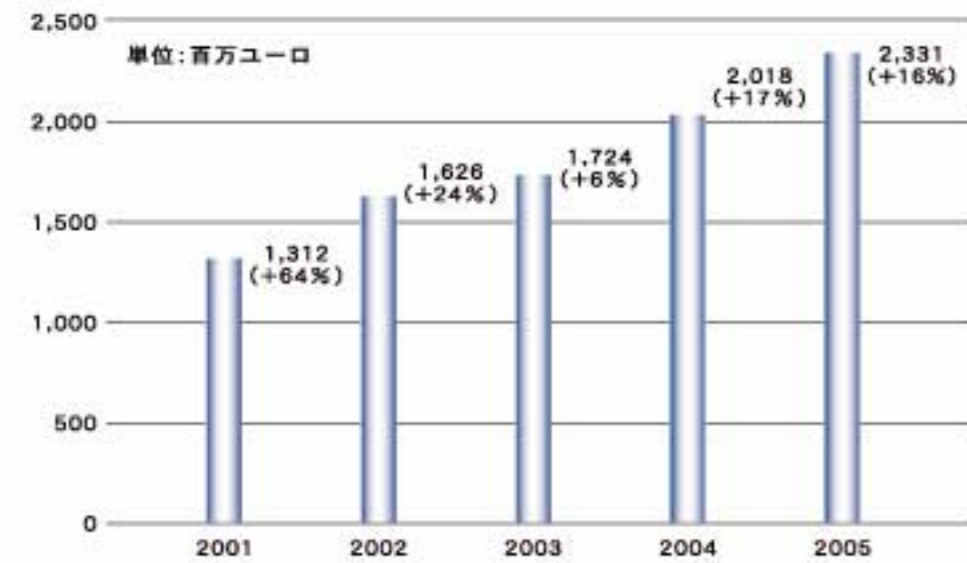
●SAP沿革

1972年	ドイツ・マンハイム(Germany, Mannheim)にSystemanalyse und Programmentwicklung(Systems Analysis and Program Development)社を設立し、ISSの標準ソフトウェア SAP R/1を開発 創立者:Dietmar Hopp(ディートマ・ホップ)、Hasso Plattner(ハッソ・プラットナー)、Hans-Werner Hector(ハンス・ワーナー・ヘクター)、Klaus Tschira(クラウス・チラ)
1976年	社名をSAP(Systems, Applications and Products in Data Processing)に変更し、SAP GmbH(合資会社)を設立
1977年	ドイツ・ワルドルフ(Germany, Walldorf)へ本社移転
1979年	SAP R/2出荷
1980年	ドイツ国内の業界優良企業100社のうち50社がSAPを導入
1984年	SAP(International) AGをスイス・ビール(Switzerland, Biel)に設立し、国際マーケットへ参入。以降、EC各国へ進出
1985年	米国ペンシルバニア州・ウェーン(Pennsylvania, Wayne)に最初のアメリカ地域拠点を設立
1988年	導入企業数 1,000社突破。フランクフルト証券取引所にSAP AGとして上場

●SAPグループ売上高推移*

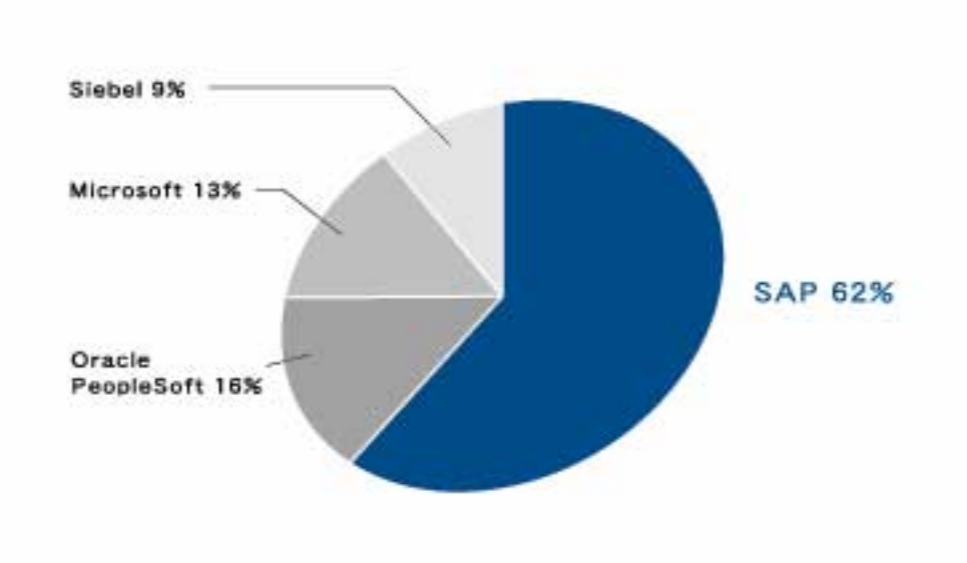


●営業利益推移*

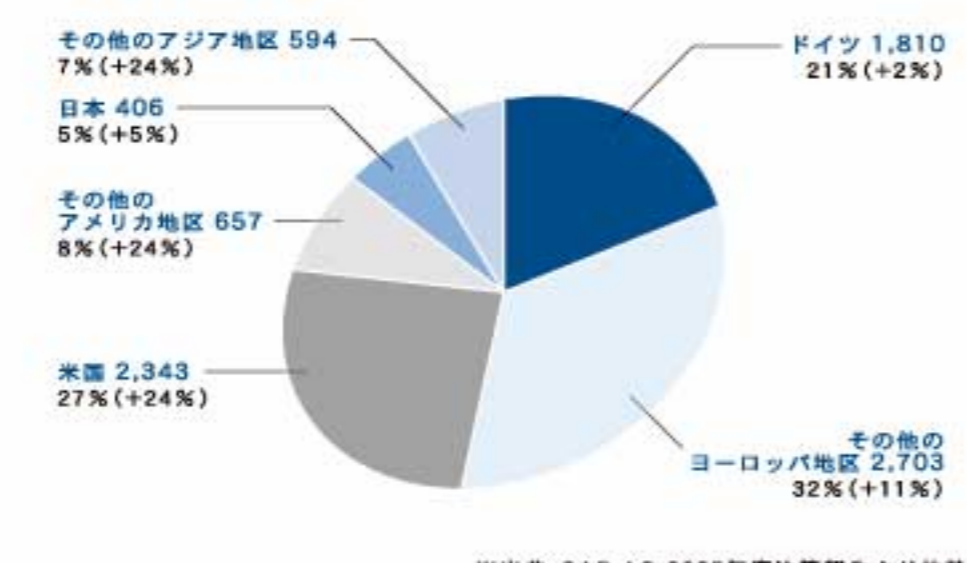


1992年	SAP R/3出荷
1996年	インターネット対応SAP R/3リリース3.1出荷
1997年	業界特化型ソリューションを開発
1998年	ニューヨーク証券取引所に上場。新たにBW、EBP、SCM関連の新製品を出荷
1999年	e-ビジネスプラットフォーム「mySAP.com」発表
2000年	グループ全体で、SAPユーザー数1,000万、導入数36,000を突破。世界120カ国で、導入企業13,500社、パートナー1,000社、対応業種別ソリューション22種に拡張
2002年	創立30周年を迎え、顧客企業数17,500社、従業員数は27,800名に
2003年	mySAP Business SuiteおよびSAP NetWeaver発表
2004年	SAP NetWeaver 04出荷。次世代ERPソリューションmySAP ERP出荷。2007年度までのSAPソリューションのエンタープライズ・サービス・アーキテクチャ(ESA)化の移行ロードマップを発表
2005年	Business Process Platform発表
2006年	コンプライアンスソリューション大手のVirsa Systems社を買収し、企業統制ソリューション対応を強化

●主要ベンダーのソフトウェアライセンス売上シェア(グローバル)*



●SAPグループ地域別売上高*



*出典:SAP AG 2005年度決算報告より抜粋 ()内の数値はいずれも前年比伸び率

●SAPジャパン株式会社概要

本社: 〒100-0004 東京都千代田区
 大手町一丁目7番2号 東京サンケイビル
 西日本支社: 〒530-0001 大阪府大阪市北区
 梅田三丁目3番10号 梅田ダイビル
 西日本支社 九州支店: 〒810-0001 福岡県福岡市中央区
 天神一丁目12番14号 紙与渡辺ビル
 名古屋支社: 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区
 名駅四丁目5番28号 近鉄新名古屋ビル
 茅場町オフィス: 〒104-0033 東京都中央区
 新川一丁目8番8号 アクロス新川ビル

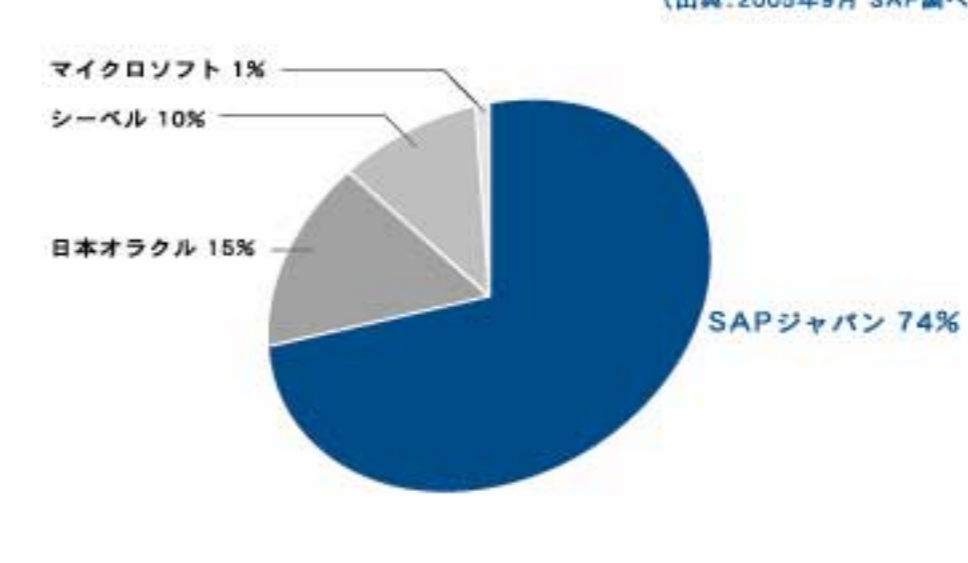
設立:1992年10月
 資本金:36億円
 役員:代表取締役社長(President & CEO) ロバート・エンズリン
 代表取締役: ハンス・ピーター・クレイ
 取締役: レオ・アポテカー
 取締役: ヘニング・カガーマン
 監査役: バトリック・オーヌゾルグ
 監査役: 渡部 一善
 監査役(非常勤): ベルナー・ブランド
 監査役(非常勤): 三木 茂
 社員数:1,283名(2006年9月末現在)
 事業内容:コンピュータソフトウェアの開発販売、
 教育ならびにコンサルティング
 決算日:12月31日
 ホームページ:www.sap.com/japan

●SAPジャパン沿革

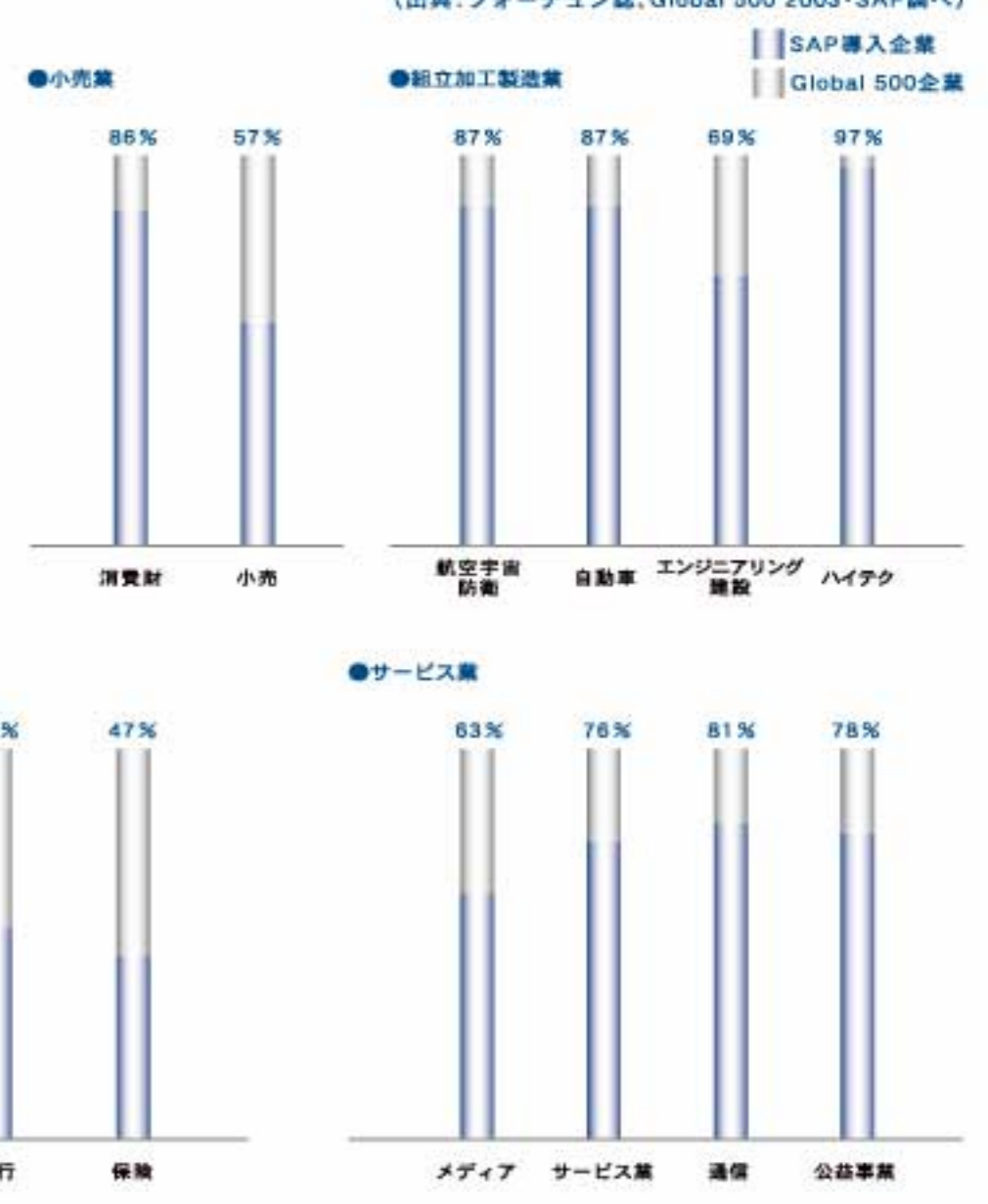
1992年 10月	SAP AG100%出資の日本法人としてSAPジャパン株式会社を設立 SAP R/3日本語版をベースに、日本市場での営業活動を開始
1995年 11月	兵庫県神戸市に「西日本支社」を開設
1996年 4月	日本で初めて「SAPPHIRE」を開催
1998年 4月	東京都江東区に開発拠点として「SAP Labs ジャパン」を開設
2000年 6月	「西日本支社」を大阪府大阪市に移転
11月	福岡県福岡市に「九州支店」を開設
2001年 4月	愛知県名古屋市に「名古屋支社」を開設

2002年 7月	東京都中央区にグローバルサポートの拠点として「茅場町オフィス」を開設
10月	SAP製品の国内導入企業数が1,000社を突破
2003年 2月	中堅企業向け業種別の導入価格モデル mySAP All-in-One発表
4月	日本で初めて「TechEd」を開催
2004年 5月	mySAP ERP日本語版出荷
6月	中小企業向け統合基幹業務パッケージ SAP Business One日本語版出荷
11月	SAP NetWeaver国内導入数100社突破
2006年 5月	mySAP ERP 2005日本語版出荷

●主要ベンダーのソフトウェアライセンス売上シェア(国内)



●フォーチュンランキング企業の業種別導入シェア



●本報告書の各データは特別に記述のあるもの以外、2005年8月31日現在のものです。